

平成 23 年 11 月 8 日

公益財団法人

世界平和研究所

## TPP（環太平洋経済連携協定）に関する提言

### 1. 基本的認識

大市場国・地域との経済連携の推進は、世界経済の主流になっている。

それにも拘らず、日本は、この世界の動きに遅れをとっており、今後のわが国の発展には、経済連携を積極的に推進することが急務である。

### 2. TPP 参加を巡る国内の動向

(1) TPP は従来の関税引き下げ・撤廃、輸入制限撤廃に限られる自由貿易協定（FTA）と異なり、投資、競争政策、知的財産権保護、政府調達などの広範囲の分野をも包括した新しいタイプの経済連携協定である。

また、日本が数か国と既に締結している経済連携協定よりも徹

底した自由化を目指すものである。

(2) **TPP** 交渉参加の是非について、日本国内で大きく意見が分かれている。**TPP** 推進派は、**TPP** がアジア太平洋自由経済圏構築に向けての最も有力な道筋でもあり世界の大勢に遅れをとらないように、政府は早期に交渉参加の決断をすべきだと主張している。

一方、**TPP** 反対派は、この **TPP** 参加がわが国の制度や仕組みに重大な変更を迫るものであり、国民生活にも多大な影響を与えるとして、反対を表明している。さらに今は東日本大震災復興に全力を注ぐべきであり、**TPP** 推進は大震災の復興の妨げになるという反対論もある。

### 3. **TPP** 参加による日本経済へのメリット

しかし、**TPP** に参加すれば、長期的には以下のような日本経済へのメリットが期待される。

(1) 関税を撤廃することにより、長期的には日本の輸出競争力が向上するほか、輸入品価格の低下を通じて、長期的には勿論、短期的にも消費者に大きな利益をもたらす。

勿論その場合、輸入増加で負の影響を受ける産業や地域に対

して適切な産業調整政策を行うことが必要である。

(2) **TPP** による知的財産権保護の強化や、貿易・投資の円滑化促進等により、海外投資を通じた生産ネットワークが一層強化・拡充される。

(3) 国内事業環境も、国際的なルールに沿って整備されることを通じて、企業の立地拠点としての日本の魅力が高まり、海外からの対日投資が増大する。

(4) 貿易や海外直接投資活動の活発化を通じ、日本企業のイノベーション活性化と、生産性向上が実現される。

(5) 日本の **TPP** 交渉参加が刺激になり、現在準備中の日中韓自由貿易協定や日・EU 経済連携協定の交渉が加速化される。

特に、日中韓自由貿易協定は **TPP** と相互補完的關係にあり、両協定間の相乗効果も大きい。

#### 4 **TPP** 参加に対する懸念とその対応

(1) **TPP** 推進派と反対派の最も大きな争点は、**TPP** と両立しうる農業の再生問題である。

推進派は、関税撤廃を原則とする **TPP** に参加しても、各種対

策を講じることにより **TPP** 参加と日本農業の再生は両立可能だと主張しているのに対し、反対派は、**TPP** が「農業の多面的機能の維持」というわが国農業の理念と真っ向から対立するものであり、**TPP** 参加はわが国の農業・食糧安全保障を崩壊させると主張している。

この両立論争は早急に双方に納得のいく決着をつけるべきである。その為に政府は農業の再生と **TPP** が両立可能であることを確認し、その実現に必要な抜本的な諸政策と、所要の予算規模やその確保の見通しを明確に示すべきである。

(2) また、**TPP** 反対派は、医療制度（国民皆保険、混合診療等）、医薬品認可、食品の安全基準（遺伝子組み換え食品の表示、農薬の残留基準等）、政府調達、郵政・労働への参入などを、重大な懸念事項として挙げている。

こうした懸念事項について、わが国の国民・消費者の利害に反する提案が出された場合には、わが国の立場を正当に主張出来る場が確保されていることが重要である。

## 5 TPP 交渉参加

(1) わが国は、**TPP** 協定の正式合意前の時点で、協定の各条項についての具体的協議とその決定過程に積極的に参画する機会を確保することが是非とも必要である。その為に交渉参加の正式意思表明を早期にすることが求められる。

(2) 交渉に参加するに際して、国益を十分確保するために必要なことは政府の体制整備である。

一元的な情報発信体制が欠如し、発信情報量が限定されているため、賛成派と反対派の間の **TPP** の議論は先鋭化し、一般国民の間にも大きな混乱を招いている。

よって **TPP** を含む経済連携問題の統括・調整を担当する中枢機能を有する部署を政府内に早急に設置することが必要である。

以上